



人生の贈りもの

元プロ野球選手 張本勲(73)

指失った右手 激痛こらえて守備

1

—日曜朝のテレビ番組「サンデーモーニング」で、活躍したスポーツ選手や良いプレーに「あっぱれ!」、ダメなら「喝!」。お茶の間にも親しまれています

私が出始めて15年です。はじめは「喝!」だけでしたが、一緒に番組に出ていた元日本ハム監督の大沢啓二さんから、ほめるのも必要だと提案があり、「あっぱれ!」が加まりました。

—イチロー選手も「あっぱれ!」を欲しがったとか

3085安打という私の日本記録にイチロー選手が並んだ時、アメリカへ試合を見に行ったら、「座右の銘は『一生一打』と『これほどの努力を人は運と云う』。いずれも川上哲治さんにもらった言葉です」

—東京都大田区、郭充撮影

—数々の大記録を打ち立てるほど活躍されたのに意外です

4歳の時、たき火に右手から落ちる事故に遭い、薬指と小指の3分の2を失い、親指と人さし指、中指が内側に曲がった。右手だとわじつかみにしかボールがつかめず、遠くへ投げられない。練習して左投げに変えました。

つらかったのは守備です。普通のグラブなら捕球できるツボが5、6カ所ある。でも、私は自分の手に合う特殊なグラブを作ってもらったので、ツボが1カ所しかない。球がイレギュラーすると捕れず、胸で止めていました。

—知りませんでした

捕球した際の衝撃で、折れたかと思うほどグラブの中の指が痛むこともあって。寒い時期は何分間

もしびれて感覚がない。またすぐに球が飛んで来たら捕れないので、靴ひもがほどけたふりをしてタイムをかけました。審判から「早くせんか」と言われましたが、痛みが引くのを待ちました。

右手は妻にも娘にも見せません。1人だけ、巨人の監督だった川上哲治さんに見せたことがありますが、引退後に食事をした時、「こういう手で頑張ったんです」と言ったら、「お前、よくそんな手で」と涙ぐんでくれました。

(聞き手・三ツ木勝巳)

はりもと・いさお 1940年、広島市生まれ。浪華商業高(現大阪体育大浪商高)から東映フライヤーズ入り。巨人を経てロツテに。首位打者を7回、年間打率3割以上を16回記録した。